

鬼怒川温泉ロープウェイ
平成22年度
エーデルワイス スキーリゾート

索道安全報告書



平成23年 4月

鬼怒高原開発株式会社

利用者の皆様へ

当社の索道事業につきましては、日頃よりのご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございますご御座います。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からのご意見、ご感想を頂戴し輸送の安全に役立てたく、ご意見を戴ければ幸いです。

平成23年4月

鬼怒高原開発株式会社
代表取締役社長 八木澤 一郎

1. 索道名

普通索道	鬼怒川温泉ロープウェイ
特殊索道	見晴クワッドリフト 第2クワッドリフト 見晴ファミリーペアリフト 第2ファミリーペアリフト 枯木沼ペアーリフト

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力し輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

当社の安全目標は次表のとおりです。

今年度は設備不具合による事故及び人身障害事故の発生はありません。引き続き、目標達成に向けて取り組んでいく所存です。

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない。
	人身障害事故	5年間の発生件数を1件以下とする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成22年度、索道運転事故（索道人身障害事故）はありませんでした。

(2) 災害（地震や暴風雪、豪雪、強風など）

平成22年度、災害による運行停止はありませんでした。

なお、悪天候等による運行停止・中断がありました。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成22年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成22年度、行政指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前安全祈願祭終了後に、職員に施設及び取扱について安全教育を実施しました。

又、月例の索道技術管理者・索道技術管理員と救助訓練時にアルバイト索道係員の安全教育及び教育訓練を実施いたしました。



全体会議



安全管理委員会

(2) 緊急時対応訓練

当社では、索道営業中索道係員及びパトロール隊員による救助訓練を実施しました。

鬼怒川温泉ロープウェイにおいては、平成22年3月22日に地元消防署等と合同救助訓練を実施いたしました。



ロープウェイ合同救助訓練



スキー場救助訓練

(3) 安全の為に投資と支出

★ 鬼怒川温泉ロープウェイ

平衡策緊張滑車交換、平衡策誘導索輪交換、電動押上機絶縁油交換

★エーデルワイススキーリゾート

見晴クワッドリフト：自動循環方式から固定循環方式に変更・非常放送設備、救助装置を更新、第2クワッドリフト：握索機オーバーホール等、見晴ファミリーペアリフト：支柱索輪オーバーホール、枯木沼ペアリフト：原動滑車ゴムライナー交換等により普通索道・特殊索道で併せて約2億7000万円の索道施設の工事費及び修繕費に充てました。

平成23年度索道整備及び予定

★ 鬼怒川温泉ロープウェイ：平衡索の交換等

★エーデルワイススキーリゾート

見晴クワッドリフト： 監視カメラの交換、各潤滑油・作動油の交換

第2クワッドリフト： 監視カメラの交換、電動機メーカー点検依頼、スタビライザー塗装（山頂・山麓）

見晴ファミリーペアリフト： 緊張策交換、各潤滑油・作動油の交換、搬器テフロンシート交換等

第2ファミリーペアリフト： 制動装置メンテナンス

枯木沼ペアリフト： 支柱索輪オーバーホール、通信線の張り替え

★外部機関との救助訓練の実施

(4) 「事故の芽」情報

安全を確保するためのシステムの改善や教育・研修の資料とするため「ヒヤリ・ハット情報」「不具合・リスク情報」報告書制度を作り、事故予防と再発防止に努めております。また、「社員提案制度」を作り、安全確保とサービス向上に努めております。

平成22年度収集実績

① 「ヒヤリハット、不具合リスク情報」

鬼怒川温泉ロープウェイ 4件 エーデルワイススキーリゾート 6件

② 「ヒヤリハット、不具合リスク情報」に対する「社員提案制度」

鬼怒川温泉ロープウェイ 0件 エーデルワイススキーリゾート 6件

(5) 社内「保安監査」の実施

平成22年6月22日に普通索道・特殊索道の社内監査が実施されました。

次の改善・是正の指導がありました。

①経緯トップへの報告のルールの改善

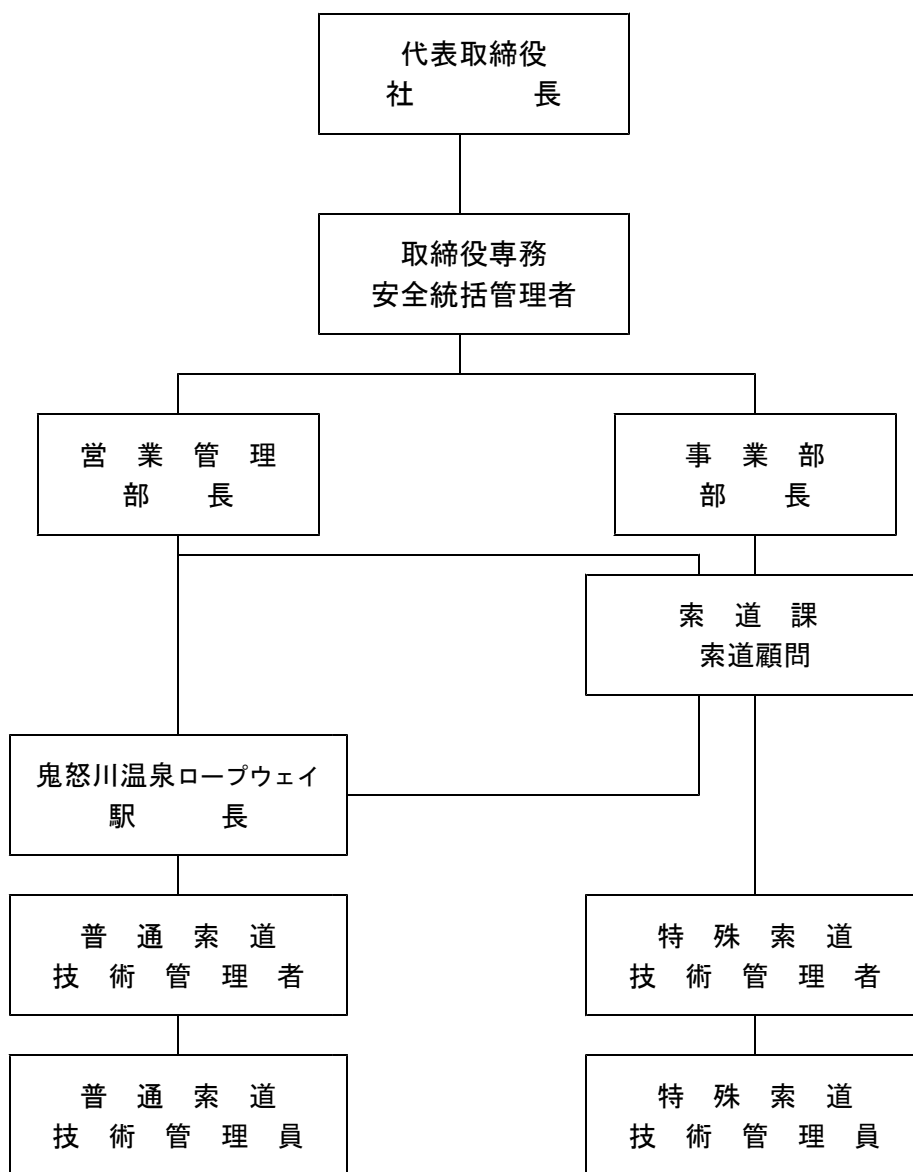
②外部機関との救助訓練の実施

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者う責務を明確にしています。

- (1) 社長は輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- (2) 安全統括管理者：索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- (3) 営業管理部長：輸送と安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
- (4) 索道顧問：安全統括管理者の指揮の下、特殊索道の輸送の安全の確保する業務を統括する。
- (5) 駅長：安全統括管理者及び索道顧問の指揮の下、普通索道の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- (6) 普通索道技術管理者：駅長の指揮の下、普通索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- (7) 特殊索道技術管理者：索道顧問の指揮の下、特殊索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- (8) 普通索道技術管理員：普通索道技術管理者の指揮の下、索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。
- (9) 特殊索道技術管理員：特殊索道技術管理者の指揮の下、索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

組 織 図



6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 当社では、皆様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より安全で信頼される索道事業の推進のために役立ててまいります。

(2) ロープ・ウェイ、リフト乗車時の注意事項

《鬼怒川温泉ロープ・ウェイ》(普通索道)

【通常時】

- ①乗車の際は足もとに注意し、搬器内では静かにして下さい。
- ②搬器内は禁煙です。また酒気を帯び他のお客様にご迷惑をかけないで下さい。
- ③爆発の恐れのあるもの及び危険物等を持ち込まないで下さい。
- ④窓から手を出したり物を投げないで下さい。
- ⑤搬器内の備品を汚損したり落書きはおやめ下さい。
- ⑥その他危険と思われる行為はおやめ下さい。

【非常時】

- ①搬器内で緊急事態発生の場合は、搬器内表示によりご連絡下さい。
- ②万一途中停止の場合は搬器内表示によりお静かにお待ち下さい。
- ③機械故障、停電等で途中停止が長時間に亘る場合は係員が搬器内に救助に上ります。
- ④その他非常の場合は係員の指示に従って下さい。

《エーデルワイス・スキーリゾート》(特殊索道)

【乗車時】

- ①リフト利用に不安な方は、係員にお申し出下さい。
- ②「乗車位置」で前に向けて待機して下さい。
- ③乗れなかった場合は直すぐにリフトから離れて下さい。
- ④ストック等がとなりの人に迷惑にならないように注意して下さい。
- ⑤「ハイバック」はたたんでご利用下さい

【乗車中】

- ①乗車中は搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないで下さい。
- ②ストック等で支柱などに触れないで下さい。

【降車時】

- ①「降り場」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んで下さい。
- ②リフトから降りられなかったら、そのまま搬器に座って下さい。

【その他】

- ①係員の指示に従って下さい。
- ②乗車の際は、係員にリフト乗車券を提示して下さい。
- ③不明な点がありましたら係員におたずねください。

7. ご意見・お問い合わせ

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒321-2522

本社：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1414
鬼怒高原開発株式会社

鬼怒川温泉ロープウェイ

Tel 0288-77-0700 Fax 0288-76-2166

エーデルワイス スキーリゾート

Tel 0288-78-0432 Fax 0288-78-1390